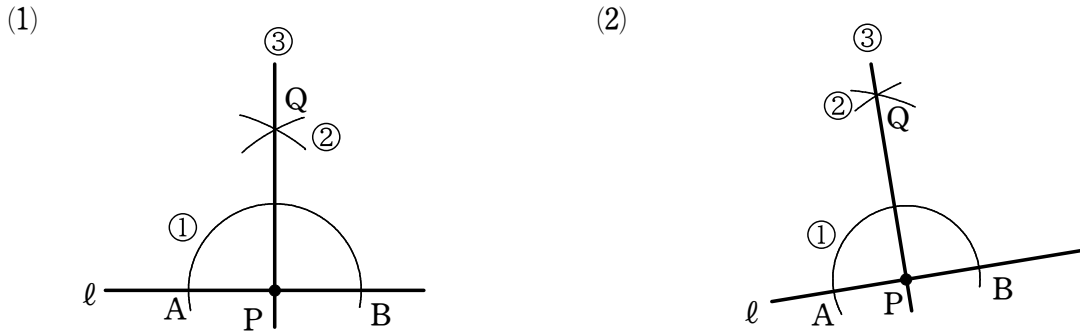
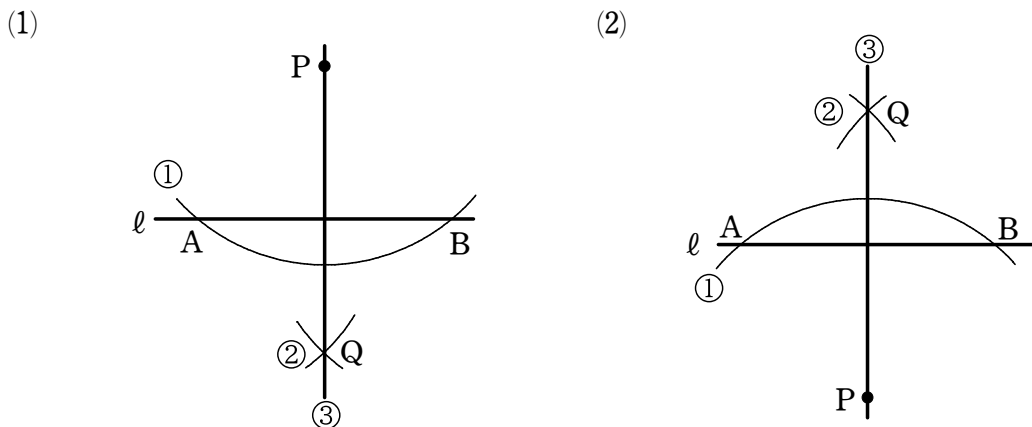


## 作図② 解答と解説

- 1 ① 点 P を中心とする適当な半径の円をかき、直線  $l$  との交点を A, B とする。  
 ② 2 点 A, B をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、その円の交点の 1 つを Q とする。  
 ③ 直線 PQ をひく。  
 このとき、直線 PQ は、点 P を通る直線  $l$  の垂線である。



- 2 ① 点 P を中心とする適当な半径の円をかき、直線  $l$  との交点を A, B とする。  
 ② 2 点 A, B をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、その円の交点の 1 つを Q とする。  
 ③ 直線 PQ をひく。  
 このとき、直線 PQ は、点 P を通る直線  $l$  の垂線である。



- 3 ① 線分 AC の垂直二等分線を作図する。  
 ② ① で作図した直線と線分 AC の交点は、辺 AC の中点となる。この点を P として、B と P を結ぶ。  
 このとき、 $AP = CP$  であるから、 $\triangle BAP$  と  $\triangle BCP$  の面積は等しい。  
 よって、線分 BP は  $\triangle ABC$  の面積を 2 等分する。

